イベント

生涯楽習祭～日常の楽しみが見つかる特別な一日～

音楽や絵画、バレエなど、ゆとろぎで活動する団体の見学・体験をすることができます。「ゆとろぎ協働事業運営市民の会」の活動も紹介します。

日　時　3月21日(土)午前10時～午後3時30分

会場・問合せ　プリモホールゆとろぎ
☎570－0707　FAX570－6422
（午前9時～午後10時。祝日以外の月曜日休館）

同日開催
生涯学習講演会
人生100年時代の生きがいとウェルビーイング
～地域での学びとつながりの生涯学習～
時間　午後2時から
会場　ゆとろぎレセプションホール
【要申込み】

▲市公式サイト

四季のウォークⅡ

「ゲゲゲの鬼太郎」や湧水豊かで「都会のオアシス」として有名な調布市を歩きませんか。

日　時　3月22日(日)午前9時30分～正午（荒天中止・小雨決行）

集合・受付　京王線調布駅中央口前広場
※受付時間…午前9時～9時20分

コース　京王線調布駅中央口→天神通り→布多天神社→祇園寺→青渭神社→深大寺本堂（約5km　90分間程度）
※グループに分かれて歩きます。

対　象　コースを1人で歩ける方
※小学生以下は保護者同伴

定　員　40人（申込順）交通費自己負担

共　催　羽村市教育委員会、羽村市スポーツ推進委員協議会

申込み・問合せ　2月17日(火)～3月15日(日)に、「氏名、電話番号（本人の電話番号と緊急連絡先）」を、左の申込フォーム、電話、ファクスまたは直接、S&Dスポーツアリーナ羽村へ
☎555－0033
FAX555－9974
※電話、直接の受付時間は午前9時～午後5時（祝日以外の月曜日休館）

▲申込フォーム

最終回

戦争当時の羽村⑦―映画『牛飼ふ村』―

戦後80年ミニコラム

戦争当時の羽村はどのような様子だったのか。最終回の今回は映画「牛飼ふ村」についてです。

「牛飼ふ村」は、戦時下の羽村の振興を、農村という観点からどのように図ったかを記録した、国策宣伝のための映画です。昭和15年ごろ作られました。

この時期、羽村の経済は養蚕だけでは成り立たなくなっていました。また、農業に最適とは言えない羽村の土地では、麦やサツマイモなどの農作物だけでは、不況から抜け出すことはできませんでした。

そこで乳牛を飼い、村を発展させようと試みました。その記録映画が「牛飼ふ村」です。搾乳したり、牛糞を肥料にしたり、その肥料で桑がよく育ち、養蚕にも良い影響があったそうです。乳牛の飼育には国民学校の児童もあたっていました。

この映画は全国で放映され、羽村から中国に出征していた兵士が現地でこの映画を見て感激した、という話もありました。

羽村から出征した兵士の記録を収めた「幾山河」などから、戦争の最前線の様子や、農業や軍需工場で勤労奉仕に従事した人々の様子など、戦時下の羽村のさまざまな場面をお伝えしてきました。そこからは、兵士の非業の死、資源を前線に送ることで生じる貧しさなど、戦争がもたらす悲しく暗い影響ばかりが伝わってきます。今の平和を守るためには、このような戦争の悲惨さを未来に語り継いでいくことが大きな力になるのではないでしょうか。

【参考】「戦後五十周年記念出版　語り継ぐ戦争体験」（発行者：羽村市）／映画「牛飼ふ村」（都映画社作品）

問合せ　総務課総務係㈹333

▲語り継ぐ戦争体験（市公式サイト）

その他

羽村市国民健康保険運営協議会の答申

市では、国民健康保険運営協議会を設置し、国民健康保険事業の運営に関する事項について協議をしてきました。

1月21日、同協議会から「羽村市国民健康保険税の適正化」について、市長に答申書が提出されました。

▲西川会長と橋本市長

問合せ　市民課保険係㈹127

令和8年度 コミュニティセンターは夏季休館します

冷房設備復旧の目途がつかないことから、コミュニティセンターは次の期間、休館します。

期　間　6月1日(月)～9月30日(水)

問合せ　地域振興課市民活動センター係㈹632

▲市公式サイト

スポーツセンターからのお知らせ

①スポーツセンターが建築基準法の日影規制に抵触していることについて

令和8・9年度に予定していたスポーツセンター大規模改修工事の実施設計業務を進めていたところ、当該施設が建築基準法の日影規制に抵触していることが判明しました。

抜本的な是正措置を講じる必要があることから、予定していた大規模改修工事は中止し、施設の建替えを含めた是正計画を検討・策定していきます。

改修工事の中止に伴い、当面の間は現状のまま、スポーツセンターは開館します（第1ホールを除く）。

②第2ホールの利用について

天井材の落下防止対策を施すことで利用可能との調査結果が出たので、5月中には貸出を再開する予定です。

ご理解、ご協力をお願いします。

問合せ　S&Dスポーツアリーナ羽村
☎555－0033
FAX554－9974（午前9時～午後5時。祝日以外の月曜日休館）

▲市公式サイト

シリーズ環境を考える　なるほど、そうだったのか

第126回　捨てる油で飛行機を飛ばす

エコ　使い終わった食用油で飛行機が飛ばせるって聞いたんですけど？

クール　よく知っているね。使用済み食用油をSAF※という航空燃料にして飛行機を飛ばすと、CO_2排出量を60～80%も減らせるんだよ。

エコ　すご～い！でもどうしてそんなにCO_2排出量を減らせるんですか。

クール　石油から作られる航空燃料は、作る過程でも飛ばす過程でもCO_2を出すんだ。比べて植物は成長するときに光合成で空気中のCO_2を吸収する。その植物から取られた油が食用油として使われて、使い終わった油を燃やすとCO_2が排出される。CO_2の吸収と放出を繰り返す「循環」の中にあるから、地球全体ではCO_2が増加することなく、環境への負担が少なくなると考えられているんだ。

エコ　そうなんですね。全ての飛行機がSAFで飛ぶようになったら地球にすごく優しいですよね。

クール　うん。国際的には2030年までに航空燃料の10%をSAFに置き換えると目標設定している。自治体や企業の協力も急速に増えて、東京都では「東京 油で空飛ぶ大作戦 Tokyo Fry to Fly Project」の一環として、飲食店や食品工場などの使用済み油124万ℓを回収し、およそ99万ℓのSAFが製造できたんだ。

エコ　すごい！私も回収に協力したいです！

クール　羽村市では市役所とリサイクルセンターに回収ボックスがあるんだよ。みんなに知ってほしいね。

エコ　さっそく油を入れに行こう！

クール　しっかりふたが閉まるペットボトルなどに入れて持っていくんだよ！

※SAF…持続可能な航空燃料。植物や廃食油、ごみなどを主な原料として製造される。

問合せ　環境政策課
㈹225／SAFについて…生活環境課㈹205

▲エコちゃん

▲クール先生

▲市役所1階に設置されている回収ボックス

▲食用油の回収（市公式サイト）